

# 产学連携による端材活用と サステナブルな木工体験商品の開発

日進木工株式会社  
金子 彩紀

# 商品名 『やまぼぼ』

2024年4月-2025年2月  
日進木工と文教大学・黛ゼミナールが共同開発

家具の製造過程で出る端材を活用した  
体験型の商品（ペン立て）



# 1 日進木工について

# 日進木工(株)

2026年は創業  
80周年

”シンプルモダン”なデザインが特徴の家具をつくっています

- ◎岐阜県高山市 本社・高山ショールーム
- ◎東京都五反田 東京ギャラリー(東京デザインセンター1F)

80<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY

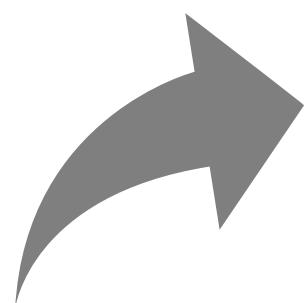


nissin

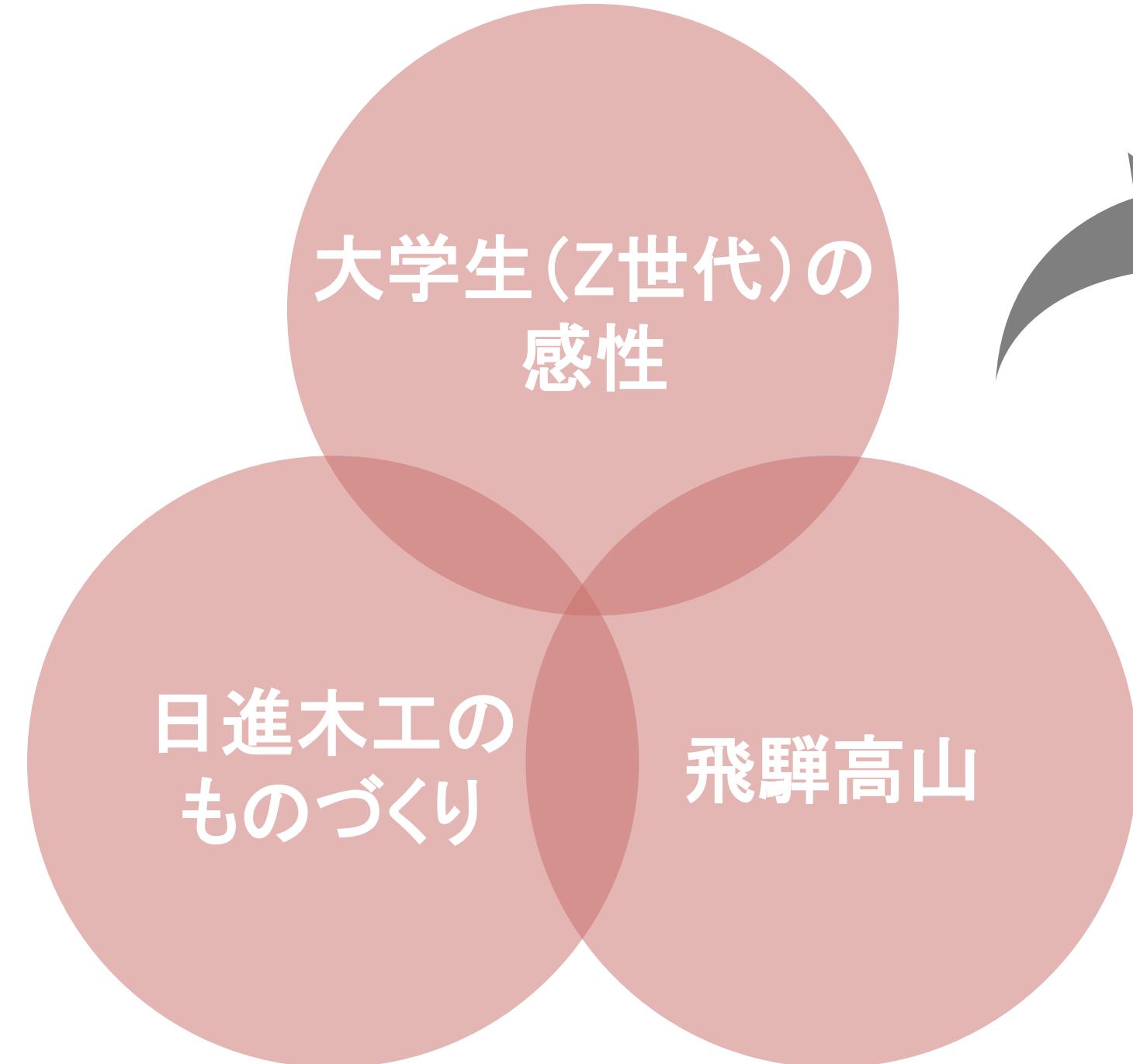
# 2 木工体験商品 共同開発の背景



# 産業観光の活性化



## 新しい体験型の 木工商品開発



# –商品開発の目的–



ワークショップ体験  
+  
お土産



新しい体験商品の  
発案



端材活用による  
SDGs推進



家具産地としての  
認知度向上

# 3 木工体験商品 提案一完成までの過程

## 工場見学



## 端材選定



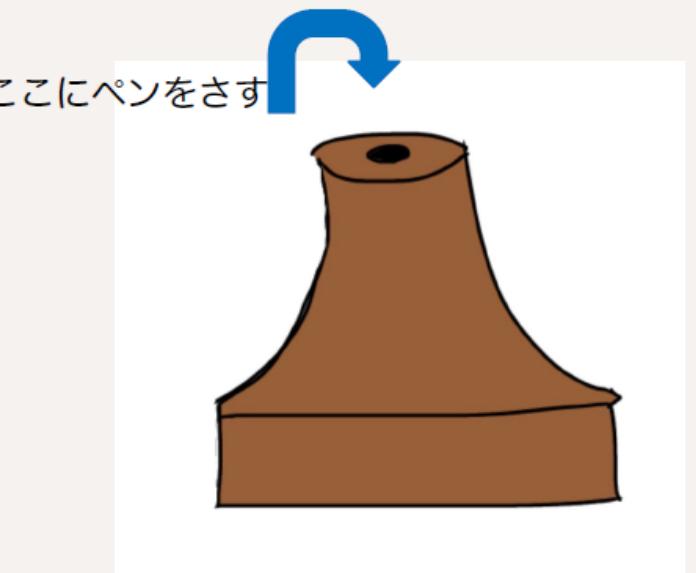
学生が日進木工に来社  
工場見学にて家具の製造過程を  
見てもらいながら、どんな端材が  
あるのかを見てもらう

# 提案

## ペnstand

### ◎製作方法

ペンが入る穴を掘る→彫刻刀で印字  
(絵の具で色を自由に塗る)



見学時に見つけたパーツを活かしたもの

### ◎注意事項

- 彫刻刀の扱いに注意
- ペンの重さによって、  
ペン立ての重量を低くし、安定させる。



②キーホルダー（キーチェーン）

◎製作方法  
自分の好きな色や形の端材を選び、彫刻刀や  
ヤスリを使用し、作成する。最後に電熱ペン  
で文字を印字する。

◎注意事項  
リングを通す部分に事前に穴をあけておく必  
要がある。



③コースター

◎製作方法  
自分の好きな端材とレジン液の色を選び、  
コースター型のシリコンに流し込む。

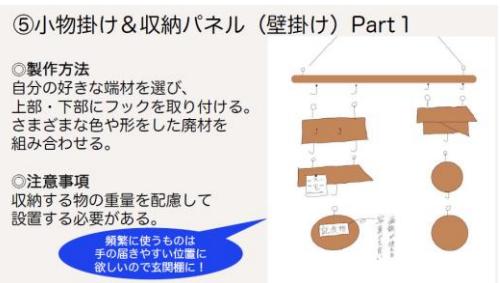
◎注意事項  
・UVライトを用いて硬化させる時間が、  
5分程度かかる。  
・どの形の端材も使用できるが、木材の厚さで  
コースターからはみ出てしまう恐れがある。  
→ヤスリなどで整える。



④モビール（木の風鈴）

◎製作方法  
・自分の好きな端材を選び、ヤスリをする。  
・穴をあけ、紐を通して、結ぶ。

◎注意事項  
紐を通して、  
引っ掛ける必要があるため、  
なるべく軽い端材を使う。  
→ヤスリなどで整える。



⑤小物掛け&収納パネル（壁掛け）Part 1

◎製作方法  
自分の好きな端材を選び、  
上部・下部にフックを取り付ける。  
さまざまな色や形をした端材を  
組み合わせる。

◎注意事項  
収納する物の重量を配慮して  
設置する必要がある。  
柄葉に使うものは  
手の動きやすい位置に  
欲しいので玄関側に！



⑥飾り棚（推し活用品展示）

◎製作方法  
円錐の端材を用意し、  
ヤスリやニスを行い、  
最後に木工用ボンドを使用。

◎注意事項  
接着には瞬間に木材が  
接着できる、  
強力なものが必要。



⑦カレンダー

家に画鋲を刺すことができない  
若者向け

・ヤスリで好みの形にする  
・任意でペイントをする

過去のカレンダーは裏返し。  
その月の写真をマスキングテープなどで  
貼ってもらおう。

12枚分のカレンダーを  
1枚の板で使う。

予め下の板に塗みを2本作り、  
カレンダーを落込みで固定させる。

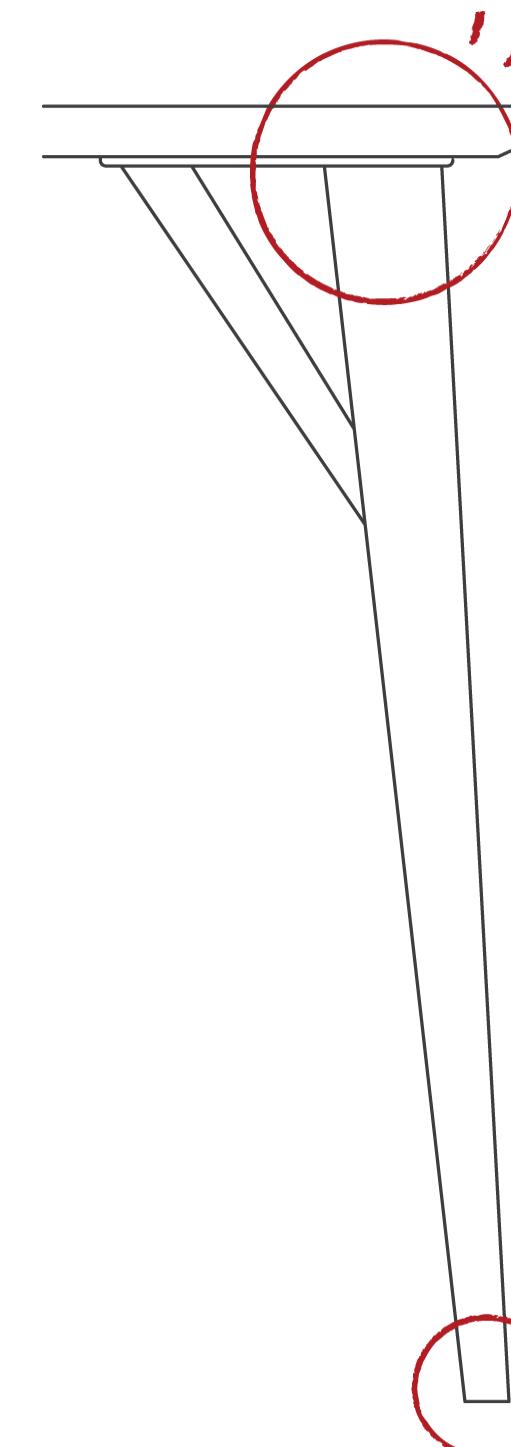
学生によるアイデアの中から  
『ペン立て』を採用

- お土産として持ち帰りがしやすいか
- 体験（ワークショップ）として安全で  
簡易であるか
- などを考慮し選出しました

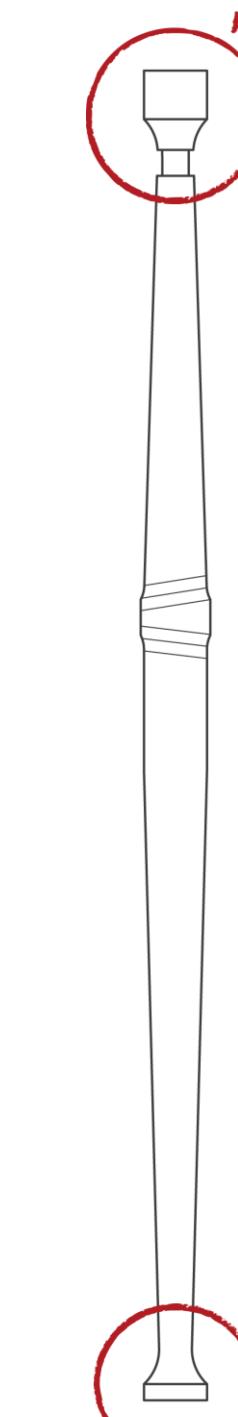
たくさんのアイデアを  
ご提案いただきました！



テーブル



チェア



今回使用した端材は  
White Wood シリーズ

チェアとテーブル  
脚の端っこを使用しました

ココの端材！



検討



## 学生を中心に商品の検討

端材のかたち・サイズを考慮しながら手を動かしながら装飾のアイデアなどを出し合いました

## 社内試作



## 社内で試作を行いました

- ・20代～40代の社員十数名が参加
- ・カラーぺん、シール、張地の端材などで装飾
- ・体験の所要時間や装飾に必要な材料も検討、その後パッケージ等も製作

会話も弾み、社員同士で交流する良い機会にもなりました☆

# 体験型の商品『やまぼぼ』の完成

ペン立ての形が飛騨高山の山をイメージさせることから、商品名は学生考案の「やまぼぼ」に。

最後に学生も実際のワークショップを体験し、今回の共同開発は完成となりました。

完成



材料を選ぶ



紙ヤスリで磨き、デコレーション



パッケージに入れて完成☆



# VISIT岐阜県に掲載されています

VISIT 岐阜県

人気のおすすめ体験・観光予約サイト

■ プラン一覧 ● トピックス ■ マイページ ② ヘルプ

工場見学と木工体験(ワークショップ)

## 【高山市】普段見る事の出来ない工場見学と木工体験(ワークショップ) [日進木工]

[ホーム](#) ▶ [【高山市】普段見る事の出来ない工場見学と木工体験\(ワークショップ\) \[日進木工\]](#)



受け継いだのは「飛騨の匠」の技術と美意識。飛騨高山の職人にしかつくれない家具がある。

飛騨高山で家具をつくることは、職人にとって特別な意味をもちます。それはこの土地が、家具づくりのなかでもいちばん難しいとされる「脚もの」の産地であり、この土地で働く職人たちが、「飛騨の匠」の伝統を受け継いでいるから。「飛騨職人の技を学びたい」志ある若者が今日も全国各地から集まっています。飛騨の家具。それは単なるブランドではありません。代々続く伝統であり、技術と美意識の粹であり、飛騨の匠の誇りなのです。このプランでは、飛騨の匠の伝統を受け継ぎ、今尚その蓄積と利活用に力を入れ丈夫な家具作りを目指す日進木工の普段では見る事の出来ない匠の息遣いの感じる工場見学が可能になります。

<    > 

# 工場見学と合わせて体験できる ワークショップとして紹介 ぜひご確認ください

# 4 日進木工の取り組み 持続可能なものづくり



創業から続く

## 「木材の無駄をなくす工夫」

家具づくりに使用する木材は丸太で仕入れ、地元の製材所で加工。丸太から製材することで使用部位や寸法を最適化し、材料の無駄を最小限に抑えています。

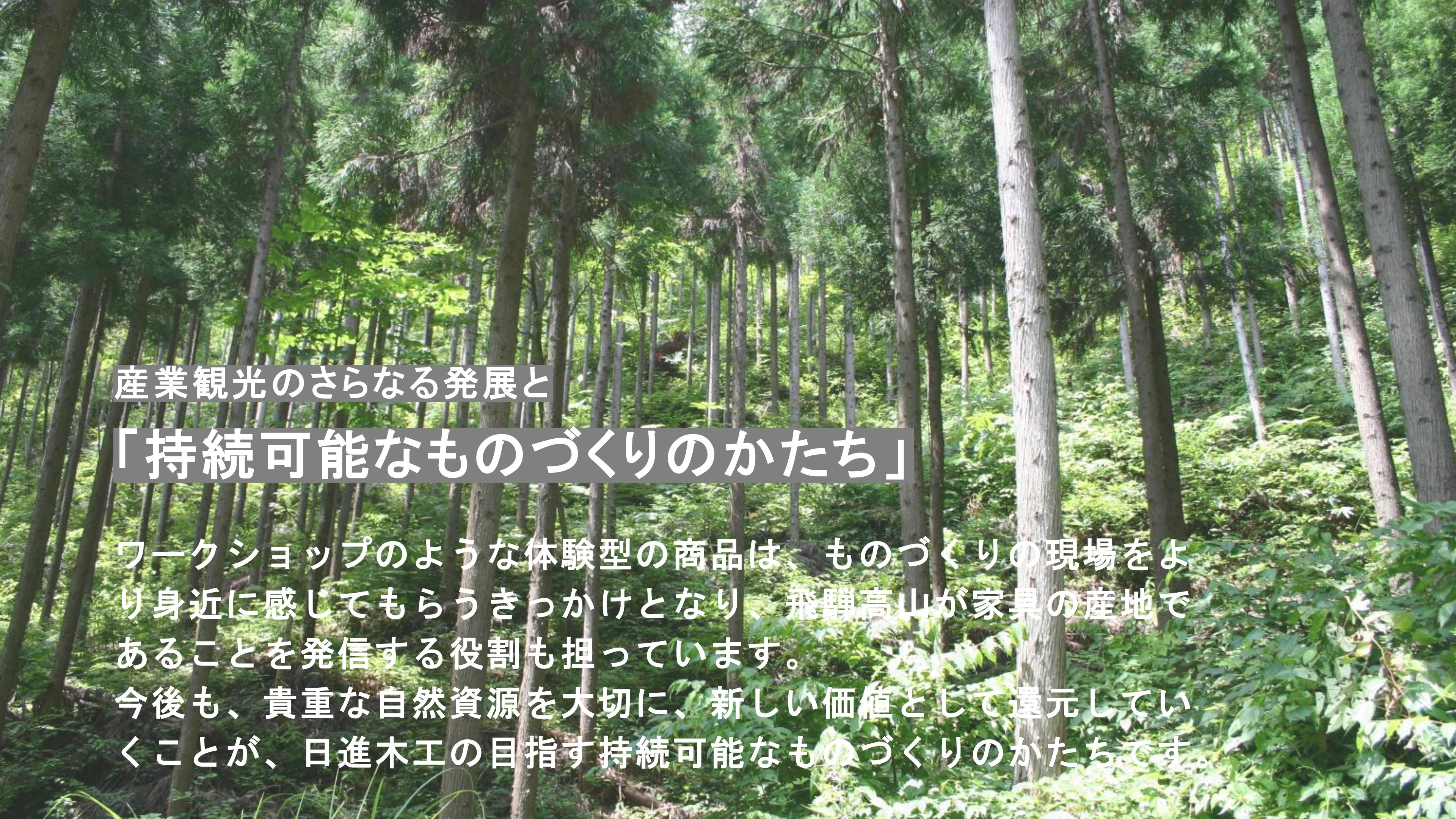
# 2025飛騨の家具フェスティバル 若手社員を中心とした端材活用ワークショップを開催しました



家具用の本革でつくるポケット  
ティッシュカバー



木つ端でつくる一輪挿し



## 産業観光のさらなる発展と 「持続可能なもののづくりのかたち」

ワークショップのような体験型の商品は、ものづくりの現場をより身近に感じてもらうきっかけとなり、飛騨高山が家具の産地であることを発信する役割も担っています。

今後も、貴重な自然資源を大切に、新しい価値として還元していくことが、日進木工の目指す持続可能なもののづくりのかたちです。



最後まで  
ありがとうございました♪

高山ショールームにはカフェスペース  
もございます。  
ぜひ、ひと休みしにいらしてください



MAP



日進木工HP

